



# 新緑

しんりよく



【発行】 社会福祉法人 新緑福祉会 / 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7 TEL.078-913-1277 FAX.078-913-1137 <https://www.shinryoku.or.jp>



## 新緑福祉会後援会の会長に就任して

新緑福祉会後援会 会長 竹山 昭治

今年の夏は特に暑い！  
年齢のせいかな、毎年同じようなことを言っているような気がします。

このたび、社会福祉法人新緑福祉会の担当理事として、後援会会長をすることになりました。利用者の生活と支援の充実に向けて頑張っています。

7月29日、後援会の主要な事業の一つであります、第27回しあわせの村まつり「ふれあいショップ」に参加してきました。多くの親子連れの方が来られ楽しんでおられました。そんな中、当後援会の田中理事さんをはじめ、後援会のメンバーの皆さんが、この暑い中一つになって笑顔で頑張っていました。頭の下がる思いです。また、買いに来られた親子連れ、特に子供さんの嬉しそうな顔が忘れられません。完売、大成功で終わりました。

私は、神戸市を退職後も神戸市手をつなぐ育成会に勤務させて頂き、霧嶋会長のもとで4年間専務理事を勤めさせていただきました。その間、多くの方とお話をする機会があり、いろいろと勉強させていただきました。育成会の取り組んできたこと、また「障害者差別解消法」等、法的な整備も進んできましたが、ただ残念なことは、人の心があまり変わっていないこと等々です。一年前のあの痛ましい相模原での事件。あの被告の間違った過激な主張を容認するような言動が、ネットなどで見受けられるということです。

地域での共生が言われて久しいですが、その前提となるのは障害者を正しく理解する為の啓発運動が大切です。また、知的障害者を取り巻く、「重度・高齢化」「親の高齢化」「親なき後」の問題。これらの課題解決を今後どうすすめていくのかが、喫緊の課題となっています。

現在、新緑福祉会は、手をつなぐ育成会と一緒にあって、来年3月末の完成を目途として、しあわせの村に知的障害者の重度・高齢化に対応できるグループホーム(定員20名)・ショートステイ(定員10名)・相談支援事業所を建設しています。後援会としましても、建設資金の一助として、既に2,000万円の寄付を決定しています。

新緑福祉会が運営する施設には、300人を超える利用者がおられます。新緑福祉会後援会は、利用者の一人一人が、幸せな生活が送れますよう、後援会活動にご理解とご賛同をしていただける方を増やし、行政等関係者のご協力も頂きながら、新緑福祉会と一丸になって進んでいかなければならないと思っています。



## 希望の光

新緑の家 保護者会 会長 松宮 佐知子



娘の彰子が「新緑の家」にお世話になるようになって15年が経過しました。当時、新緑の家は満員状態で入所できるかと心配しておりましたが、丁度「ここはの家」が開所した年で、娘を含め7名が入所できた幸運を喜んだことを覚えています。

その娘が、昨年の6月ごろから薬の副作用で体調を崩し、主人と二人がかりの状態が続きました。体力的にも精神的にも自信を無くし、まさしく親の高齢化を肌身で感じたところでした。幸い今年の6月にやっと体調が戻り、薬の難しさ・怖さを感じた1年でした。また、職員の方からやさしく言葉をかけて頂いたり励まして頂いたり、娘だけではなく私自身も支えて頂きました。そして、娘が楽しく園生活を送れるようになった今、住み慣れた街で安心していつまでも娘と一緒に暮らしたい、そういう気持ちで一杯です。

現在、新緑福祉会では「重度高齢化対応のグループホーム」の建設が進められています。今これまでの「親なきあと」に加え「障害者の高齢化・重度化」対応が大きなテーマになっています。その意味からも、このホームが神戸におけるモデル事業となり、私たちにとって「希望の光」となるよう願っております。

### 新緑福祉会後援会

### 第27回 しあわせの村まつりバザー報告

グリーンホーム平成 田中 伸布子

実施日時：平成29年7月29日(土) 16:00～20:00

売上報告：148,150円 参加者：30名

活動報告：

当日は準備中に雨が降り、お天気が少し心配でしたが、販売時間は雨が降ることなくホッとしました。

多くの方が早い時間から来られ、また子どもさんが多く、店の前はとてにぎやかでした。



私たち後援会では、毎年このしあわせの村まつりで、おもちゃを中心に販売をしています。ビニール製のお散歩犬やその他の動物、乗り物などに空気を入れて膨らませるのが大変でしたが、保護者のお父さん、

お母さん、施設の職員の方々が、店先の子も達を前に、汗をかきながら頑張りました。その他、夜には光る羽根も人気がありました。

そうした皆さんのお力添えで、品物は店の終了時間にはなくなり、

嬉しい汗でした。

暑い中、夜遅くまでお手伝いしていただきました皆様、ありがとうございました。

これからもよろしく願いいたします。

また、親が販売している間、子ども達を園の方で見てくださいました事、感謝しております。

## 親子体験事業の流れ

神戸市立ワークセンターいわや 施設長 光岡 研士

社会福祉法人新緑福祉会では、平成25年度より「親子体験事業」を実施しています。

「特別支援学校高等部等に在籍されている方に卒業後の進路を考える機会の提供」、また「日中の活動場所を考慮される在宅の方を対象にした情報提供」を目的に、神戸市内にある5カ所の事業所で親子体験をしていただくというものです。

流れとしては、年度当初に特別支援学校等へのご案内（訪問）、支援センター連絡協議会のご案内から始まります。特別支援学校等高等部の方については、8月中に受入れしています。在宅の方については、8月を除く期間で受入れをしています。

今年度は、特に特別支援学校等の高等部に在籍されている方の希望が多く、調整が大変という嬉しい状況でした。中でも1年生が多く、卒業後の進路への関心の高さが窺われます。平成29年度は、1年生25名、2年生9名、3年生3名の計37名の方に参加していただきました。

皆さまからのアンケートでは、「実際に事業所の内容を見ることができます。」「本人が体験をすることができ、新しい発見ができました。」「おいしい給食が親子で食べられます。」というお声を頂いており、今後も続けていきたいと思っています。

なお、この事業を実施するにあたり、「神戸市手をつなぐ育成会」より、運営費の助成をいただいています。誠にありがとうございました。



## ご寄贈いただきました

《一般社団法人 川西報公会様より》 平成29年7月

600,000円のご寄付をいただきました。

新緑福祉会後援会からのご紹介です。

計画中の「高齢・重度障害者対応グループホーム」「短期入所事業」「相談支援事業所」の創設費用に充てさせていただきます。

ありがとうございました。

《大阪ガスグループ様より》 平成29年8月

今年もパソコン寄贈プログラム「はじまるくん」のノートパソコンをいただきました。グリーンホーム平成で大切に使用させていただきます。

ありがとうございました。



## 満25歳になりました

新緑の家 施設長 川添 宏史



新緑の家は西神ニュータウンの西方に位置し、神戸市立の西体育館、西消防署、西在宅福祉センターなどに囲まれています。

朝はとなりのパン屋から流れてくるパンが焼ける香りの中で始まり、消防署から時々流れてくる、出動車両のサイレンを聞きながら、皆いろいろな活動しています。

近所の畑を借りた農耕、神戸市バスや神姫バスのバス停清掃などの外作業やタオルたたみ、ファンシーグッズの袋詰め、手芸等の室内作業の他にも音楽活度、体育活動、外出活動、班別活動、季節に応

じた行事と一人一人日々変化がある活動に取り組んでいます。

そんな新緑の家も今年6月で満25歳を迎えました。

そして今年、25周年記念の一泊旅行を行いました。

今、48名の利用者が在籍していますが、そのうち20名の方が20年以上、新緑の家で頑張っています。

人の人生の中で若いときの20年は、すごく大事な時間だと思います。

利用者一人一人、個性があり、やりたいことやりたくないこと、好きなこと嫌いなこと、みんな違いがありますが、新緑の家の20年で、みんなが多くのいい思い出が作れたのでしょうか。

これからも、一人一人の心に残るような活動をしていきたいと思います。



## 滝谷ホームの食事 ～今日この頃～

滝谷ホーム サービス管理責任者 木村 成明



長田区にある「滝谷ホーム」では5名の男性が生活されています。

彼らは、毎年5月に開催している庭先でのバーベキュー（ワークホーム緑友の職員との交流会）を楽しみにされています。バーベキュー当日は、15名が参加し肉や野菜・唐揚げなどを堪能しました。美味しい物をたくさん食べる事は勿論ですが、入居者が職員と話しながら笑っているのを見てると、人との交流を楽しみにされていたのだとつくづく感じました。

今年の5月から、新しい世話人を迎えて再出発している「滝谷ホーム」ですが、世話人の作ってくれる食事が見た目も味も良く、一寸した旅館の夕食みたいな感じで、入居者の評判も上々です。そのため、2か月に1度実施して

いるお食事会（外食）では、「もしかしたら、普段ホームで食べている夕飯の方が・・・」などと思うこともありました。最後に食べたソフトクリームには皆さん満面の笑顔でしたが、今後のお店選びに苦労しそうな贅沢な悩みが発生しています。

時には利用者同士ぶつかることがあっても、美味しい物をいっぱい食べれば、気持ちは落ち着き、心は満たされる。そんなこんな、ホームの食事事情です。これからも、食欲いっぱい・笑顔いっぱい生活して下さることを願っています。



## 発達障害への理解と支援を!

神戸市発達障害者東部相談窓口 所長 吉良 正幸

神戸市には神戸市発達障害者相談窓口が4箇所あります。新緑福祉会はその1つである「神戸市発達障害者東部相談窓口」(以下「相談窓口」)を、市から委託され、平成21年7月から運営しています。「相談窓口」は、神戸市の東部地域、東灘区、灘区にお住いの15歳以上の方やご家族、支援者の方からの発達障害に関する相談をお受けしています。相談員は2名で、他に所長(地域生活支援センター所長兼務)、事務員(兼務)がいます。

発達障害は、メディアでも取り上げられ、インターネットが普及して、調査では9割近い人が知っていると言われますが、具体的なことはまだ十分知られているとは言えません。

ご相談の多くはご本人やそのご家族からで、「職場で上司とうまくコミュニケーションが取れない」、「人からの指示を勘違いしてしまうことが多い」などです。またご相談者の多くは「発達障害の診断」を希望されています。しかし「発達障害の診断を受ける方法」「診断の実際」または「診断を受けた後のサポート体制」が現状どのように構築されているかなどの情報はまだまだ少ないように思います。情報に関しては、発達障害の特性のみではなく、診断からその後の支援まで発信することが重要だと考えています。

昨年、「発達障害者支援法」が改正されました。目的に「全ての国民が障害の有無によって分け隔てられることのない共生社会の実現」をあげ、ポイントとして「ライフステージを通じた切れ目のない支援」、「家族なども含めた、きめ細かな支援」「地域の身近な場所で受けられる支援」があげられています。このことから、今年度から私どもの対象年齢も18歳から15歳に引き下げられました。

今後とも、地域の身近な場所での相談窓口として、神戸市発達障害者支援センターはじめ、関係機関、関係事業所のご支援を受け、支援センターと協力しあいながら、日々、仕事に励んでいます。JR灘駅を南に降りてすぐの「東部在宅障害者福祉センター」の1階にあります。ぜひ、お立ち寄りください。



## むつみ's kitchen

玉津むつみの家 管理栄養士 沢田 伸子

玉津むつみの家は4月から委託業者が変更となり、新たな気持ちで日々の食事作りを行っています。

行事食や選択メニュー、各班のリクエストメニューなど、利用者の皆さんの好みを反映しつつ楽しんでいただけるメニュー作りを心がけています。

先日、むつみの家・とこはの家合同の夏祭りが行われ、初めてのイベント食となる夏祭りメニューを提供しました。メニューは利用者・職員のリクエストを取り入れながら、バラエティーに富んだものになりました。特にナンカレーや見た目も涼やかなキラキラフルーツゼリーなど、普段と違った雰囲気で大好評でした。

これからもみなさんに喜んでいただけるよう、おいしい食事を提供していきたいと思っています。



## ボランティア紹介

特定非営利活動法人プライフ 才原 渉

特定非営利活動法人プライフは兵庫県を中心にスポーツ・健康運動指導やその指導者育成、スポーツ施設運営・管理、スポーツマネジメント・コンサルティングなどスポーツに関する多分野で活動してきた有志が集い、それぞれの分野から経験と知識・ノウハウを持ち寄り、運動やスポーツを通じて、より多くの人々が心身ともに健康でいきいきと暮らしていくことをサポートしていきたいと考え、設立されました。

新緑の家では第1・第3火曜日の月2回、「健康体操」を実施させて頂いています。施設職員の皆様におかれましては、いつも多大なサポートを頂戴し、感謝しております。この場を借りて、厚く御礼申し上げます。教室内容はコアトレーニングやバランストレーニングを組み合わせた筋力増強運動とエアロビクスなどの有酸素運動を組み合わせたクラスと、運動とストレッチを個別に実施させていただくクラスの2つになります。2つのクラスのアプローチ方法は違いますが、みなさんの「健やかな心身の獲得」を目指して努めています。

運動は多種にわたり、回を重ねるごとに少しずつ強度も高いものとなってきました。一般の方でもしんどいことや難しいことができるようになってきました。好きな運動・得意でない運動などみなさん好みはありますが、「できた!!」の声とともにみせてくれる笑顔や難しいと感じながらも頑張っている姿を拝見し、私がたくさんの力をもらっています。本当にありがとうございます。いつも頑張っているみなさんに負けないよう、引き続き私も元気いっぱい教室に取り組みたいと思います。今後ともどうぞ、よろしくお願い申し上げます。



次の教室を楽しみにしていますね!!

## 講師派遣

なだ障害者地域生活支援センター

### □手をつなぐ育成会「進路情報提供会」報告 平成29年7月1日

なだ障害者地域生活支援センター水田相談員が、手をつなぐ育成会「進路情報提供会」において「地域生活支援センター」の説明を行いました。

### □武庫川女子大学「ソーシャルワーク実習特別講義」報告 平成29年6月23日

法人本部正心事務局長が、「障がい者を支援する楽しさ、難しさ」をテーマに講師を務めました。

### □神戸シルバー法律研究会「成年後見制度の多方面での理解を目指す7月例会」報告 平成29年7月19日

法人本部正心事務局長が、「障害者施設・障害者相談支援事業所からみた成年後見制度」をテーマに講師を務めました。

## 法人研修報告「新人研修をして」

とこはの家 主任支援員 岡崎 和美

今回はじめて新人研修で「個別支援計画と利用者支援」について講師をすることになり、私が伝えられることは何だろうかと頭を悩ませました。いろいろと考え、調べればでてくる内容ではなく、できるだけ自身の経験から得たことを事例として伝え、利用者に関わっていくことに前向きに興味を持っていただけるような話をしたいと思いました。残念ながら、自己の評価としてはうまく話すことはできませんでしたが、同じ法人で働く同士ですので、これからもいろいろと一緒に取り組んでいきたいと思っています。

## 新人職員の自己紹介

### 神戸市立ワークセンターいわや



西尾 明子 (にしお あきこ) 支援補助員(パート)

ココで働きたいと思った理由

前職は、子ども達の発達支援の仕事をしていました。この子達が大きくなったらどうなるのだろう、そして成人された方々に対する支援にも興味があり、支援員をやってみたいなと思いました。支援を通して共に学び、共に成長していけたらと思っています。

よろしくお願いします。



千葉 光枝 (ちば みつえ) 看護師(パート)

ココで働きたいと思った理由

面接の時に、対応してもらった施設長、主任、スタッフさんの笑顔での挨拶と優しい対応が良くて決めました。私は看護師ですが、病院以外での仕事は初めてなので、医療行為も家庭での処置が中心です。でもその分、利用者様とのコミュニケーションが大切であることを、スタッフさんの日々の対応から学ぶことが多くあります。私も愛情を持った対応が出来るように努めたいです。

### グリーンホーム平成



木田 亜紀子 (きだ あきこ) 支援員(契約)

ココで働きたいと思った理由

障害のある方との出会いは、前職の移動支援の仕事でした。「日中は、どの様に過ごされておられるのだろうか?」と思い、この平成に参りました。

皆様と色々な活動を一緒に楽しみながらできればと思っております♪  
宜しくお願い致します。

## 報告 法人内各事業所で実習、ワークキャンプ等の受入れを行いました (平成29年4月～平成29年8月)

### □玉津むつみの家

いぶき明生支援学校・青陽須磨支援学校・豊岡短期大学・玉津中学校

### □ワークホーム緑友

神戸女子大学・神戸看護専門学校・神戸特別支援学校・神戸こども専門学校

### □グリーンホーム平成

神戸看護専門学校・友生支援学校・神戸特別支援学校・神戸女子大学・武庫川女子大学・神戸親和女子大学・須磨ノ浦高等学校

### □新緑の家

いぶき明生支援学校

### □神戸市立ワークセンターいわや

青陽東養護学校・神戸看護専門学校・原田中学校・上野中学校

### □ここはの家

武庫川女子大学



## 支援者芳名録

【平成29年4月～平成29年6月】

〔後援会扱い〕

### 賛助会員名(敬称略)

田中 静、竹内 洋子、菊川 義秀、堀江 善也、大辻 一久、濱田 みや子、広瀬 真奈美、古本 和子、浅田 ルミ子、長谷川 まさえ、  
中尾 弘三、松本 宣親、高崎 康夫、丸山 隆也、丸山 昭枝、木下 トヨミ、有本 政一、松岡 正道、門脇 ミツ子、後藤 久美子、  
竹内 甲治、森村 正一、墨谷 きみ、大山 春江、酒井 昭夫、門脇 重道、横山 ひろみ 会費合計 87,000円

### 寄付者名(敬称略)

菊川 義秀、ぎゃらりー Café 仁、(株)サンビルダー、大山 春江 寄付金合計 54,000円  
会費・寄付金合計 141,000円

〔法人寄付扱い〕

### 寄付者名(敬称略)

藤原 伸夫、(株)奥井工務店 寄付金合計 20,000円

〔法人〕

### 新緑福祉会へのご寄付のお願い

社会福祉法人新緑福祉会へのご寄付受付を当法人事務局にて行っています。

障がい(児)者の方が一人でも多く社会に参加し、生きることを心から楽しめるよう知的障がい(児)者の家族、職員一丸となって取り組んでおります。

当法人の考え方、事業に共感をしていただける皆様からのご厚情・ご支援をお待ち申し上げております。

皆様からのご寄付はこのように役立てています

- ・新規事業所の創設(グループホーム短期入所・相談支援事業所等)
- ・車両の購入(送迎用ワゴン車、作業用トラック等)

個人ご寄付 1口 3,000円、団体ご寄付 1口 10,000円

### ご寄付の方法

#### 〈お振込〉

郵便振込(払込票は法人ホームページ内から印刷できます)  
口座番号: 00940-5-0236641  
加入者名: 社会福祉法人 新緑福祉会(シャイワッホウガン シリョクフキカイ)  
※後日、領収書を郵送させていただきますのでご住所、お名前、電話番号は正確にご記入願います。

#### 〈現金でのご寄付〉

法人本部事務局及び、法人内各事業所でも受け付けております。  
(受付時間 平日9:00～17:00)  
※窓口にて「払込取扱票」をご記入いただけます。  
※後日、領収書を郵送させていただきますのでご住所、お名前、電話番号は正確にご記入願います。

当法人にご寄付いただくと、以下の所得税法及び法人税法による控除が受けられます。手続きは、寄付をされた年の確定申告時に、当法人が発行した寄付金領収書を添付して下さい。

#### 〈個人の場合〉

以下の限度額で所得税法の寄付金控除が受けられます。  
〔「特定寄付金の支出額」と「総所得金額等の合計額の25%」のいずれか少ない方の金額〕-5,000円=寄付金控除額

#### 〈法人の場合〉

次の限度額内で法人税法上の損金算入ができます。  
《(期末資本金及び資本積立金 × 事業年度の月数 / 12 × 2.5 / 1,000) + (当該事業年度の所得金額 × 2.5 / 100)》

### ご寄付に関するお問い合わせ

社会福祉法人 新緑福祉会  
〒651-2121 神戸市西区玉津町水谷字セリ合400-7  
TEL: (078)913-1277 FAX: (078)913-1137  
メール: otoiwase@shinryoku.or.jp

〔後援会〕

### 賛助会員勧誘のお願い

新緑福祉会後援会(以下、後援会)は、社会福祉法人 新緑福祉会(以下、法人)に対し、毎年、施設用地の取得に係る借入金の償還金相当額540万円の財政支援をしています。

また、各施設の建物改修、設備の更新等の経費に対しても、毎年、支援をしています。

さて、法人では、平成26年11月に、平成27年度から3年から5年で達成すべき中期計画を定めました。中でも、保護者・利用者の高齢化に伴い、当面の課題として短期入所施設の設置要望が高まっており、しあわせの村内に、この短期入所施設を実現すべく計画を進めています。新たに、施設の建設となりますと、更に多額の資金が必要となり、資金集めに取り組まねばなりません。

そこで、後援会としては、厳しい社会情勢ではありますが、今後もさらに法人と連携し収入の拡大に努めます。後援会の設立の趣旨にご理解を賜り、一人でも多くの新しい賛助会員のご勧誘をしていただきますよう、また、すでにご加入頂いております賛助会員の方々には、ご加入の継続をご推奨いただきますよう、お願い申し上げます。

- 年会費: (個人会員) 1口 3,000円、(団体会員) 1口 10,000円(1口以上のご寄付をお願いいたします)
- 振込先: 郵便振込 口座番号: 00960-2-145979  
加入者名: 「新緑福祉会 後援会」
- 新緑福祉会のHP (<https://www.shinryoku.or.jp>)に、後援会を関連機関として紹介しています。賛助会員についても掲載していますので、是非ご覧ください。

## 編集後記

社会福祉法人新緑福祉会の機関紙の第4号をお届けします。ご多忙の中、原稿を寄せていただいた皆様に感謝申し上げます。今後も、多くのご意見を拝聴しながら、さらに良いものに育ててまいります。併せて、リニューアルが完了しましたホームページもご覧ください。

現在、しあわせの村での新規事業の進捗は、建設のハード計画を終え、利用者支援のソフト検討の段階となっています。9月7日に起工しました建設工事では、関係の皆様にはご不便をおかけしますが、何卒、ご協力をお願いいたします。

後援会の皆様には、「しあわせの村まつり」に続き「第28回こうべ福祉・健康フェア」でも出店をしていただきます。法人組織が一体となって、協力いたしますので、よろしくお願いいたします。